

美作国電力 地域循環で経済活性化

再生可能エネメインに

有志企業を
中心に設立 今夏、売電本格化へ

美作地域の有志企業を中心設立した「美作国（みまさかのくに）電力」（二宮、松田欣也社長）が国の電力小売事業認可を受け、4月から官民連携による発電事業に乗り出す。今夏には一般家庭や事業所への売電を本格化させる計画で、再生可

0億円とされる同地域の電力需要に着眼。昨年7月に準備会社を立ち上げて賛同を呼びかけ、これまでに津山信用金庫（山下）、津山中央病院グループ（川崎）など同商議所会員事業所8社、ベンチャー投資などを展開するフィンテックグループバ

ルトレーディング（東京都）の計10社が出資し、資本金3000万円。現在、10市町村に協力を依頼中で、出資企業は50社まで募る。

既存の電力網を利用し、2月からマূলイ店舗と従業員の協力を得て試験操業を開始。利用料金は大手電力会社より安価に設定し、申し込みから最長2カ月で切り替えでき、スマホでの使用量可視化などのサービスも行う。供給する電力は当面、電力卸売マーケットから買い取るが、段階的に地元のバイオマスや小水力など再生可能エネルギーの比率を増やす計画。3年後には売電を一般家庭向け約7500世帯へ広げ、事業所向けと合わせて売上15億円を目指す。

津山商工会議所会頭でマূলイの持ち株会社・マームハートホールディングス（同所）の松田社長が、人口減や高齢化に伴う経済低迷への対抗策として約40

美作地域の有志企業を中心設立した「美作国（みまさかのくに）電力」（二宮、松田欣也社長）が国の電力小売事業認可を受け、4月から官民連携による発電事業に乗り出す。今夏には一般家庭や事業所への売電を本格化させる計画で、再生可

0億円とされる同地域の電力需要に着眼。昨年7月に準備会社を立ち上げて賛同を呼びかけ、これまでに津山信用金庫（山下）、津山中央病院グループ（川崎）など同商議所会員事業所8社、ベンチャー投資などを展開するフィンテックグループバ

ルトレーディング（東京都）の計10社が出資し、資本金3000万円。現在、10市町村に協力を依頼中で、出資企業は50社まで募る。

既存の電力網を利用し、2月からマূলイ店舗と従業員の協力を得て試験操業を開始。利用料金は大手電力会社より安価に設定し、申し込みから最長2カ月で切り替えでき、スマホでの使用量可視化などのサービスも行う。供給する電力は当面、電力卸売マーケットから買い取るが、段階的に地元のバイオマスや小水力など再生可能エネルギーの比率を増やす計画。3年後には売電を一般家庭向け約7500世帯へ広げ、事業所向けと合わせて売上15億円を目指す。



美作国電力の事業について話す松田社長

より安価に設定し、申し込みから最長2カ月で切り替えでき、スマホでの使用量可視化などのサービスも行う。供給する電力は当面、電力卸売マーケットから買い取るが、段階的に地元のバイオマスや小水力など再生可能エネルギーの比率を増やす計画。3年後には売電を一般家庭向け約7500世帯へ広げ、事業所向けと合わせて売上15億円を目指す。

津山朝日新聞

2019年（平成31年）1月8日（火曜日）3面掲載